

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

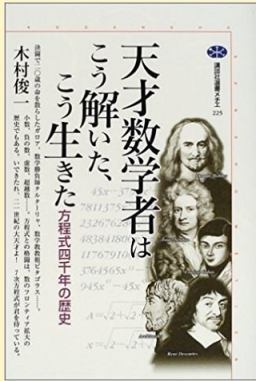
私の1冊

物理情報工学科

松本佳宣 先生

『天才数学者はこう解いた、
こう生きた/木村俊一著』

配架場所：本館 2階図書



数学の中でも特に方程式の歴史を天才数学者の生涯と思考の原点に注目しながら解説を行った書籍です。著者はシカゴ大学滞在中にレーゲンシュタイン図書館に通い、様々な数学者の原著をたどりながらこの本を執筆しています。そのため、数学者の思考の描写が生き生きと描かれ、所々に記述された過去の数学問題とその解法を読むことで虚数、加法定理や方程式の解の成り立ちを理解できます。授業や研究で使っている数学手法が、どのように成り立ってきたのか、その歴史を学ぶ意味でもお勧めです。

Contents

第12回サイエンスカフェ	P.1
第11回サイエンスカフェを開催しました	P.1
論文検索・Mendeley・EndNote X8 個別レクチャー	P.2
活躍★学生スタッフ	P.2
小展示：科学者たちと音楽	P.2

イベント 第12回サイエンスカフェ

ACTIONSCAPES：活動を誘発する建築

5月に引き続き、6月もサイエンスカフェを開催します。2017年度の第2弾は、システムデザイン工学科のホルヘ・アルマザン先生を講師にお招きします。

- 【講師】ホルヘ・アルマザン先生
(システムデザイン工学科)
- 【日時】2017年6月27日(火)
18:15-19:30
- 【会場】理工学メディアセンター創想館1階
- 【対象】塾生・教職員
- 【参加費】無料(お茶とお菓子が出ます！)
※事前申し込みは不要です。



近年の建築の課題は、複数の分野から発生する複雑でしばしば矛盾する要求に対して応えることです。建築意匠では技術と美の一貫性、環境心理学では行動と空間の適合性、生態学ではより広範な環境への影響の制御が求められます。

サイエンスカフェでは、意匠・行動・環境を融合する「アクションスケープ」(活動の風景)を提唱し、慶應義塾大学の研究室と共同でその概念を具体化した一連の設計事例を説明します。



理工学部1、2年生、他学部所属の方も大歓迎です！「建築」と「公共空間」という私たちの生活とも関わりが深いテーマで見聞を広めませんか？皆様のご参加をお待ちしています。

報告

第11回サイエンスカフェを開催しました

5月15日(月)、第11回サイエンスカフェ「ハリウッドから見たメディアインフラの未来」を開催しました。今回は情報工学科の金子晋丈先生をゲストスピーカーにお迎えしました。

メディアセンター創想館1階学習エリアの会場が満席となる盛況で、スピーチにも自然と熱がこもり、時間が足りなくなるほどでした。

ご講演では、ハリウッド映画が求める高品質のメディアコンテンツの制作・流通・消費を最先端のデジタル技術がいかに保証するのか、という先生が最近取り組まれているお仕事を紹介されました。また、昨年末に理工学メディアセンターに設置された4K対応の大型テレビで、本物の4K動画を鑑賞しながら、その品質を維持するために必要なことが分かりやすく示されました。

先生は聴き手との距離が近くなることを希望され、最初から会場に質問を投げ、意見を聴きとり、終始インタラクティブで和やかな雰囲気の間が演出されました。



メディアセンタークイズ

矢上キャンパスで人気の
科学技術文献データベース
「JDreamIII」へ
同時にアクセスできる人数は
最大何人でしょうか？

答えは紙面のどこかに…

今月の1枚: HEXA



創想館 1 階ラウンジの大型テレビの側にある正六角形の椅子にお気づきですか？商品名は「HEXA」と言います。正六角形で思いつくのが「ハニカム構造」。蜂は、少ない蜜蝋で広くて丈夫な巣を作るため正六角柱を繋げる技を編み出しました。この軽くて強い構造を蜂の巣から学び、人は飛行機の翼や新幹線の車体を改良しました。日韓ワールドカップから日本のゴールネットも四角形から六角形になり、ボールの衝撃を吸収し突き刺さったように見える豪快なゴールシーンを演出しています。

ラウンジの大型テレビでは通常「J SPORTS」を流しています。「HEXA」の椅子は移動がスムーズなので、ベストポジションでスポーツ観戦をお楽しみください。

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL: 045-566-1477
E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Webサイト Twitter 電子版はWebサイト「図書館について」メニューにある「出版物・統計」よりご利用ください。



セミナー

論文検索・Mendeley・EndNote X8 個別レクチャー

春のグループ向けセミナーへの参加を逃した方、もっとじっくり聞きたい方向けに、6月は個人のペースにあわせてレクチャーします！

【実施期間】

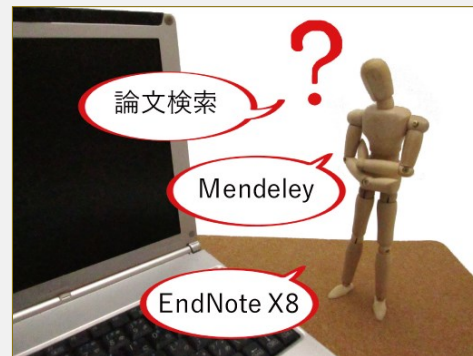
2017年6月1日(木) - 30日(金)

平日9:00-17:00

【内容】

- ①論文検索 (Web of Science, Scopus, JDreamIIIなど)
- ②文献管理ツール Mendeley (無料ソフト)
- ③文献管理ツール EndNote X8 (院生・教職員へはITCでライセンス配布)
※各45～60分程度
※②③はソフトをインストールしたPCをご持参ください。

1～3名の少人数対象を想定していますが、研究室に伺っての開催など、アレンジが可能です。事前にレファレンスデスクまでご相談ください。



【申込み】

レファレンスデスクまたは、理工学メディアセンターWebサイト「申し込む」メニューより、希望日の3日前まで(土日祝日除く)にお申し込みください。

【レファレンスデスク】

本館1階(平日 8:45-17:00)

riko-ref@lib.keio.ac.jp

紹介

活躍★学生スタッフ

理工学メディアセンターで学生スタッフが働いていることをご存じでしょうか。

学生スタッフは、返却された本を元の場所に戻したり、並ぶ順番の間違っている本を見つけては正しく並べ直したりして、資料がすぐに見つかるよう常に書棚を整えています。また、皆さんがリクエストした資料が用意できると、貸出・返却カウンターにある予約棚に並べるのも学生スタッフの仕事です。

図書館を使う側と働く側の両方の視点を持つ学生スタッフは、大変頼もしい存在です。

図書館の裏側を知る縁の下の力持ち、ブックトラックに本を積んで運んでいる学生スタッフに注目してくださいね。



小展示

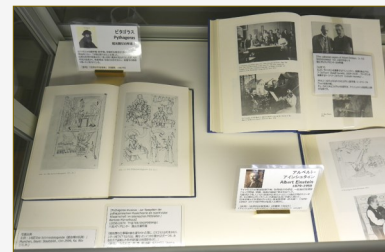
科学者たちと音楽

古来、数論・幾何学・天文学・音楽は、神が作った世界の調和を探求する最も重要な学問とされており、この四科 = quadrivium(クワドリヴィウム)はすべて数的な調和によって律せられていると考えられていました。科学者たちが音楽を愛したのも、うなずけるものがあります。

今回の展示では慶應義塾大学とも縁の深い物理学者、アルベルト・アインシュタインと、現在は作曲家としてもその名を残す有機化学者、アレクサンドル・ポロディンについての資料を中心に、科学者たちと音楽の関係性について教えてくれる資料をご紹介します。ぜひお立ち寄りください。

【期間】2017年6月1日(木) - 7月31日(月)

【場所】理工学メディアセンター創想館1階



理工学メディアセンターリポジトリ ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。

理工学メディアセンターWebサイトにあるバーナーよりご覧ください。



リコメ☆ニュース購読受付中!

リコメ☆ニュースでは、新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。対象は慶應義塾在籍の方で、配信は不定期です。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWebサイトの「申し込む」メニューよりお申し込みください。



メディアセンタークイズ

答え: 20人

意外と知られていない「同時アクセス数」ですが、1人～無制限と、データベースによって異なります。「あれ?使えない?」はこれが原因かもしれません。「データベースナビ」にも記載しておりますので、一度確認してみてくださいね。